

「クリエイターの話 ～私のイメージの源泉」

スペースデザイン部会員 いからししほ
五十嵐 史帆

『ふぞろいの林檎、の木』

■素材との出会い

私は主に木を使って作品制作をしています。製材によって現れる木地や木目、特に年輪に魅力を感じています。それをテーマにしていた頃は、木目の目立つ材を、懇意にしていた材木屋さんに探してもらったり、偶然手に入った檜（むろ）や黒檀などを使ったりしていました。ただ、それらの材は安定して入手するのが難しく、また、割れを防ぐには乾燥前の皮付きの丸太から製材する必要があります。公園や街路樹の剪定情報を頼りに、現地で交渉して譲ってもらうこともありました。そうして出会った木を使って制作していた時期もあります。

最近では、林檎の木を使っています。林檎の木は収穫や樹形の調整のために定期的に剪定されます。低木に育てられるため枝ぶりが複雑で、節や曲がりも多く、加工は容易ではありません。それでも製材すると、寒冷地で育った木ならではの細かな年輪や詰まった木地が現れます。また、落ち着いた焦げ茶の色味は鮮やかな色との相性もよく、異素材と組み合わせる表現を楽しんでいます。



剪定された街路樹（檎）の枝





檜の木を用いた作品《a bag 02》

■反復と没入

木片の集合体でかたちをつくるというスタイルは、初入選当時からほぼ変わっていません。同じ形を大量に切り出し、ドリルで無数の穴を開ける作業は「修行」のようでもあり、時間と効率を考えながら「今日は何個」と目標を立てて繰り返す作業は「内職」のようでもあります。こうした作業を「制作」や「表現」と言ってよいのか、迷うこともあります。

ただ、この気が遠くなるような数に向き合っている間は、日常の雑事から離れ、目の前の行為に深く没入していくような心地よい感覚があります。その沈み込むような集中のなかで、自らの内面を静かに見つめ直す時間が生まれているように思います。



林檎の木と赤い綿糸を組み合わせた作品《Disk 2019》



綿糸と毛糸で繋いだ作品《Suhama1 2024》

■デジタルと揺らぎ

最近、従来の木工機械に加えてレーザーカッターも使用しています。直線や円に限らず、自ら描いた線をデータに変換することで、複雑なかたちの木片も切り出せるようになりました。そうして得られた木片は均質で、一見洗練されているように見えますが、集合体として組み上げると、単調で抵抗感がなく、どこか面白みに欠けるようにも感じることがあります。

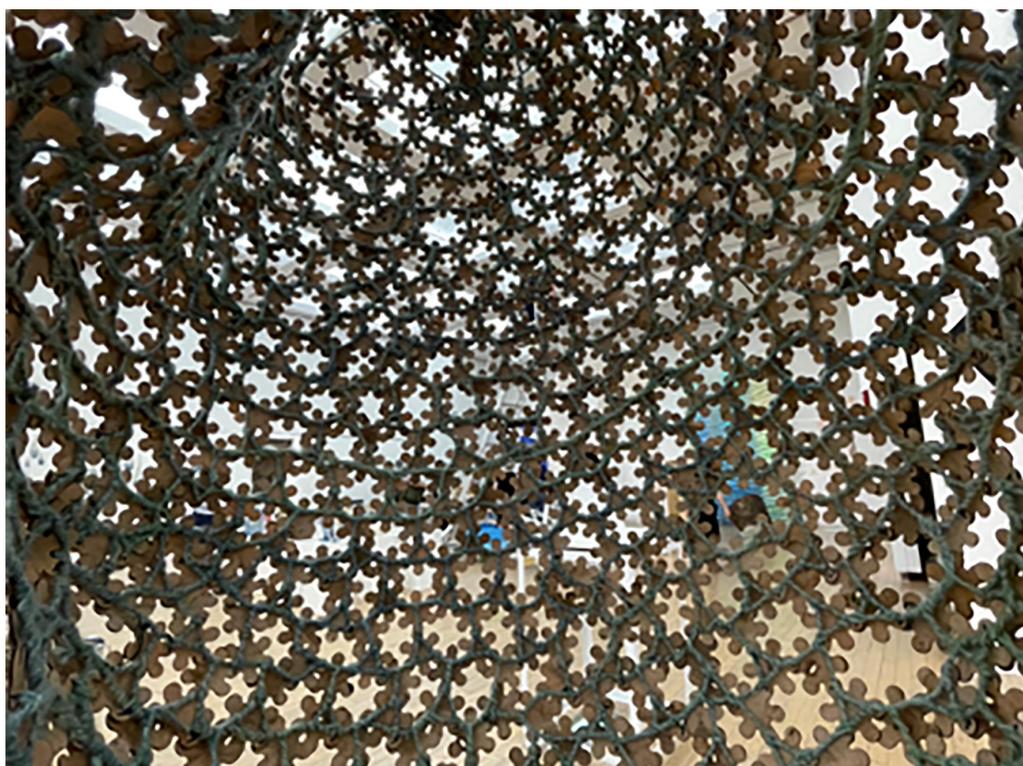
制作で大切にしていることは、歪みや曖昧さ、迷いや遊びといった、手による造形ならではの人間的な揺らぎです。感覚の揺れや不安定さに由来する、手の軌跡を残したいという思いから、アナログな作業やその場の感覚も重視しています。制作の過程では、素材を組み合わせ、組み替え、行きつ戻りつを繰り返してかたちを探っています。

デジタルの力を借りつつも、仕上がった作品はどこかふぞろいで、整然とした“スタイリッシュさ”とは異なる佇まいをしています。けれども、そうした“揺らぎ”のなかにこそ、「私らしさ」がにじんでいると感じています。

手を動かしながら素材と向き合い、ときに格闘するようにしてかたちを探る……イメージにもなりきれない何かをかたちにする……試行錯誤を重ねながら進むこの営みこそが、私のイメージの源泉なのだと思います。



家紋「初雪」をもとに描きデータ化して、レーザーカッターで切り出す



内側からのほうが面白かった…… 作品《Hatuyuki 2024》

五十嵐 史帆 プロフィール

東京都生まれ（新潟県上越市在住）

2004年 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科博士課程 修了

2004年 第68回新制作展スペースデザイン部門 初入選

2007年 「現在の造形 -Life&Art- 展」（東広島市立美術館／広島）

2009年 上越教育大学大学院（美術科教育）着任（現在に至る）

2010年 第49回日本クラフト展（丸ビルホール／東京）

2013年 第77回新制作展スペースデザイン部門 新作家賞受賞（同 2018年受賞）

2019年 新制作協会 会員推挙

○SD通信 Vol.66 『クリエイターの話 ～私のイメージの源泉』五十嵐史帆 編は如何でしたか。

五十嵐さんの木材による作品は、細かいパーツの数の多さに圧倒されます。幾何学的な形が数多く集合している様子はとても柔らかく優しく有機的です。

そして私たちにとって最も身近で親しみのある素材としての「木材」から、更にまた新たな魅力を発見しているように感じます。デジタルの道具を操りつつも「歪みや曖昧さ、迷いや遊びといった、手による造形ならではの人間的な揺らぎ」を大切にしていることが分かりました。次作を拝見するのが今からとても楽しみです。皆さんの感想は如何ですか。

◆五十嵐史帆さんの情報は新制作協会ホームページにも掲載されています。

→ <https://www.shinseisaku.net/wp/archives/20107>

◆SD通信 Vol.33 「私を創ってくれた3つの作品」五十嵐史帆 編はこちらでご覧いただけます。

→ https://www.shinseisaku.net/wp/wp-content/uploads/2023/08/SDcommVol.33_The-three-works.pdf

◆SD通信のこれまでのバックナンバーは協会ホームページに掲載されています。

「私を創ってくれた3つの作品」のバックナンバーもご覧ください。

→ <https://www.shinseisaku.net/wp/archives/26661>